



他よりすぐれた人口減少対策を

遠藤 宏司 議員

財政面を考慮しながら実行していく

町長

くい止める人口減少

小中学校の給食費の無料化の考えは、

町長 町と保護者の負担は従来どおりと考えている。子どもの医療費の無料化を高校卒業まで拡大の考えは、

町長 医療費無料化を18歳まで拡大すべく条例を提案しており、令和2年4月1日から導入できるよう補正予算をお願いしている。

町長 国民健康保険税を国保基金が高額にしている。国民健康保険税を

子ども達の将来のためにできる限りのことを！



豪雪でも暮らしやすく
鷹巣地区の流雪溝の整備が、当初の予定より大幅に遅れている。早期完成を目指すべきではないか。
町長 本年度の国の補正予算に鷹巣地区の流雪溝の追加要望をすることができた。少しでも早い進捗を図って行きたい。
流雪溝未整備地区の整備を進める考えは、
町長 水源の確保、財源の確保に苦慮している。国県への要望活動を継続していく。

合併しなかった町
町の合併法定協議会が、平成17年4月1日に大石田町と尾花沢市を「はながさ市」として合併することを決議したが、町民が住民投票で合併をやめさせた。これは良かったと考えるか。
町長 良かったかどうかを論じるのは難しい。大石田町単独で自治体を運営していくことを町民自ら選択したわけで、どうこう申し上げることはできない。



まだ完成しない流雪溝（鷹巣地内）

プレミアム商品券

消費増税に伴う、プレミアム商品券の購入申請が低調だ。購入対象者全員に商品券を行きわたらせるようにできないか。

町長 町に申請書を提出し引換券が交付される制度なので、自治体の裁量で変更できない。



どうする？部活動指導

組織風土

神戸市内の小中学校の教職員間においてハラスメント行為があったことが判明した。大石田町での未然の対策は、

教育長 報道が事実だとすれば残念でならない。本町の学校は同僚性が高い。今後も「悩みを一人で抱え込ませない」「組織で対応する」「相談しやすい雰囲気づくり」「和やかさの中にも真剣な職員室」等を継続させたい。

部活動のあり方

全国的に部活動による負担が課題の他、専門性を有している教員が半数に満たないなど、学校だけで運営体制を維持していくことが難しい状況。中教審や県でも地域との連携等が推進されているが、大石田町の現状、取組は、

教育長 地域単位で取り組みができる環境にはまだなっていない。他市町との連携も必要。子ども達の様子や意識も把握しながら今後に繋げていきたい。

変形労働時間制度導入

公立小中学校の繁忙期の定時を延ばし、その分、8月に休日のまとめ取りをする法案が12月4日参議院で可決成立した。導入に際して、自治体の判断が可能とされているが、現在の見解は、

教育長 時間外労働の上限を、原則「月45時間、年360時間」を指針とし、法的には成立したが、

各界から多くの意見が寄せられているのも事実。運用については慎重であるべき。

現場の教員からは、繁忙期の労働環境の悪化等を懸念する声しか聞こえてこない。町の子どものためにも、先生方に少しでも良い労働環境を。教育長 現場の教職員の声も大事にしながら、慎重に進めていきたい。

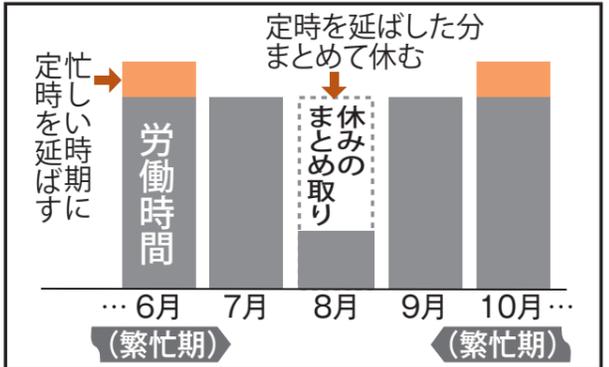


町の教育現場の実態は

二藤部 冬馬 議員

同僚性が高く良い状態と感じる

教育長



変形労働時間制のイメージ